

平成 24 年度代表理事に就任して

“ すみたいな きれいな 地球いつまでも ”

代表理事 柳川 三郎

3.11 を契機として変わった私たちの活動

昨年 3 月 11 日の東日本大震災を契機として、私たちの環境保全改善に取り組む姿勢が大きく変わりました。その主なものは、大気環境について放射能モニタリングが日常的になったこと、災害によって発生する大量の「ガレキ」廃棄物をどのように処理すべきか、夏季・冬季の節電への取り組みについて、新エネルギーの活用推進について、等があると思います。私たちには、絶えず学び、その知見を活かして社会教育の場で、啓発活動と環境保全活動を実践していく視点が必要とされています。特に新エネルギー導入への課題を含めての学びは着々と前進を図っています。

平成 24 年度かながわコミュニティカレッジにおいては太陽光発電・新エネハウス・丹沢大山の保全・津波と洪水シミュレーション・東日本大震災と私のボランティア等の内容で講座を実施し、新しい学びが実行出来ました。

新エネルギー導入への課題

については、新エネルギーは自然条件に左右され、出力が不安定になりやすい、又、新エネルギーを利用できる機会や地点が限られているため、電源として補完的な位置であるということが前提となります。蓄電池を併設したシステム、電力システムに対する電圧変動や周波数変動の影響に関する実証的な研究が実施されていますが、既存電力 10 社では 2011 年 10 ケ所、2012 年 3 ケ所と、発電コストが高いため新エネルギー拡大への余裕がない状況のようです。新エネルギーは従来型電源に比べて発電コストが高いので、製造コスト低減のために技術開発を推進することや適切な政策的支援による需要創出を通じて量産効果の実現を目指しています。

ガレキを活かすプロジェクトへの参画

については、「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」が 5 月 25 日に発足いたしました。当会がどの

ような形で参加が可能か共に考えて見たいと思っています。かって、この目で強大なコンクリートによる防御・防波堤を見て、自然の猛威・津波を防御出来ると判断した国民の 1 人です。そしてまた、沿岸部の人たちの自然災害に取り組む姿勢の高さに感服した次第ですが、3 月 11 日の東日本大震災で無残にも跡形もなく敗北したこの事実を直視していきましょう。自然の猛威には自然のたくましい力を活用していくべきではないでしょうか？ 当会の皆様の集合力を結集していきませんか。

私たちの活動目的をもう一度見直してみよう

当会の目的は相互の情報交換、研鑽を積極的に行い、会員は習得した知見を地域の環境学習活動と環境保全活動に活かすこととなっています。東日本大震災のように破壊された国土の復活・復興を目指すことに一助の手を差し伸べることも新しい進め方にしていきたい思いでいっぱいです。

よろしく願いいたします。



5 月 24 日 上高地河童橋にて

平成 24 年度 総会を開催しました

事務局 桑原 清

2012年5月27日、かながわ県民センター604会議室で平成24年度総会を開催しました。正会員22名、賛助会員2名が出席した他、45名から委任状または議決権行使書の提出がありました。

内藤克利 副代表理事からの挨拶、来賓の神奈川県環境科学センター所長 塩谷映雄様からのご祝辞の後、出席者の互選により安丸元一氏を議長に選出し、議案の審議に入りました。各議案とも、活発な質疑応答、意見交換の後、賛成多数で承認されました。

総会后、新たに選出された理事による理事会を開催し、理事の互選により代表、副代表を選出しました。各理事の役割分担は右表の通りです。



総会出席の皆さんと来賓の塩谷所長

代表理事 柳川 三郎	グリーン部会長
副代表理事(*1) (新任) 古谷 敏夫	水環境部会長、いきもの 観察会担当(*2)
理事 桑原 清	事務局、エネルギー部会 長、規定類改訂担当
理事 田口 繁雄	会計・経理、助成金・補 助金担当、広報部長
理事 荒谷 輝正	ケナフ部会長、名簿管理 担当、ホームページ担当
理事(新任) 飯田 富佐江	事務局担当
理事 猪股 満智子	大気環境部会長
理事 齋藤 昭一	
理事 内藤 克利	廃棄物 GO3 部会長
理事(新任) 松原 洋一	広報部副部長、ホームペ ージ担当
理事 吉田 栄一	自然環境部会長
監事 安藤 紘史	
監事 福田 昭三	

(*1) 定款第 15 条 2 に定める代表理事職務代行

(*2) 「いきもの観察会」は県の補助金を得て今年度より3年間実施する当会事業

新理事就任のあいさつ



古谷 敏夫 (大磯町)

会員の皆様には、日頃から当会運営に、ご支援ご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。このたび齋藤様の後任として水環境部会長に指名されました。皆様方のお声を大切に当会の継続と発展に微力ながら精進してまいりますので、よろしくごお願い申し上げます。



松原 洋一 (秦野市)

昨年に本会の18期生として入会したばかりの新人ですが、2年目にして理事の大役を仰せつかり、多少戸惑っております。不慣れで何かと御迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしく御指導を賜りますよう、ごお願い申し上げます。



飯田 富佐江 (南足柄市)

自然に興味を持ちながら、環境活動に関わり始めて14年になります。昨年入会したばかりで役を受けるのは荷が重いですが、新しい目線が入るのも良いのかもしれない。色々とお知らせすることもあるかと思いますが、よろしくご願います。



環境ボランティア養成講座「自然災害と環境」を開催

事務局 桑原 清

かながわコミュニティカレッジ連携講座「環境ボランティア養成講座」を開催しました。平成20年に第1回を開催して以来、6回目の開催です。今回は「自然災害と環境」がテーマで、7名の受講生にご参加いただきました。

今回実施したプログラムは会報78号に掲載の通りです。実施結果については当会ホームページに掲載されていますので、ご参照ください。



2日目 港湾空港技術研究所。コンピュータ制御で色々な波を発生できる巨大な水槽を見学



4日目 創エネハウス見学



4日目 小林幸三氏による八丈島小型風力発電所の講義

『地球環境イベント・アジェンダの日2011』に出展

事務局 桑原 清

6月2日(土)、3日(日)、かながわ地球環境保全推進会議などの主催で「地球環境イベント・アジェンダの日2012」が開催されました。会場は昨年と同様、神奈川県庁付近の日本大通りと「象の鼻パーク」。当会は今年も「象の鼻パーク」のテントブースに「自転車発電で風船をふくらませよう」などを出展しました。

「自転車発電で風船をふくらませよう」は人力発電自転車で発電した電気で空気ポンプを動かし、風船をふくらませるゲーム。大人でもなかなか風船は膨らみませんが、頑張りすぎて膨らませ過ぎると割れてしまいます。

2日は朝11時の開始直後こそ来場者はまばらでしたが、昼近くなると家族連れや孫の手を引いたおじいさん・おばあさんなど大勢が当会のブースに立ち寄り、夕方5時の終了までに大人、子ども合わせて100人近くが自転車をこいで楽しんでいきました。

天気予報では3日は雨でしたが、明け方降っていた雨も朝のうちに上がり、朝10時開始の頃は薄曇り。予報では昼ごろにかけて再び雨でしたが、それも外れて午後には薄日がさすほど。この日も100人ほどの来場者がブースを訪れ、夕方4時の終了ちか

くにはこの日用意した100個の風船がなくなるほどでした。



人力発電体験コーナー



グリーン部会活動紹介

平成 24 年度 市町村環境学習担当者研修の講師報告

グリーン部会長 柳川 三郎

県環境科学センターから平成 24 年度 市町村環境学習担当者研修の講師要請によって「グリーン購入について、環境出前講座授業」を講義及び実習を実施しました。参加者は 16 市町村から 20 名でした。

- ・日時 平成 24 年 5 月 17 日 10 時から 12 時
- ・講師 柳川三郎、齋藤美代子、荒谷輝正

* 講座の内容

- 1、参加型紙芝居
- 2、買い物ゲーム
- 3、買い物の仕方ですべてを変えよう
- 4、当会の紹介
- 5、発表と質疑



* 全体の流れ、「美しい地球を残すために、かけがえのない地球を、豊かな地球を将来に残していくための、誰もが参加して出来る 1 つとして、グリーン購入」。私たちが食べ物を買う時、「安いものを」「美味しいものを」「新鮮で安心なものを」そして、もう 1 つ加えてほしい「環境を考えた買い物をしよう」。

* 参加者からの声

手作り紙芝居など、講師の熱意と思いが伝わった。

ポイントでクイズがあるなど、飽きさせない工夫、講師として機会があればお願いしたい。

授業のテーマなど広げ方などが参考になった。グループワークを通して、グリーン購入が分かりやすく勉強できることが分かった。

小学生用のプログラムでグリーン購入を分かりやすく説明している。当会はいろいろな活動していることが分かり今後の選択肢の 1 つにしたい。買い物の授業を通して環境について考える、分かりやすいし、楽しいし、小学生に興味を持ってもらうきっかけになって、とても参考になった。



古澤正文様の米寿を祝う

ケナフ部会長 荒谷 輝正

県環境科学センター主催のリーダー養成講座第一期生で、当会の創立にも多大な貢献をされています。古澤さんが 5 月 8 日(1924 年(大正 13 年)生れ)米寿を迎えられました。今でも週 2 回茅ヶ崎の自宅から相模原の工房迄元気に通って居られ、紙管を使った工作の指導をされています。地元の茅ヶ崎ではエコワーク、湘南シニアクラブ他多彩な活動をされています。パソコンではミクシーに定期的に投稿され、チェロも習って居られます。

また、当会総会にも欠かさず出席され、大所高所から助言を頂いています。

高齢化社会とはいえ、お元気で活躍されていることは私にとっても憧れの的であり、秘訣を会員に話して頂ければと思っています。



ケナフ部員と古澤様(前列中央)

新会員紹介

木質バイオマスエネルギーの活用を考える



エネルギー部会 小林 信雄

3.11 大震災の原発事故によって、国内の電力事情が大きな打撃を受けています。その反動で、太陽光発電、風力発電など自然由来のエネルギーが注目され、バイオマスエネルギーもその一つです。本稿では、私が現役時代から練ってきた木質バイオマスエネルギーを林業分野に活用する方策を述べてみたいと思います。

林業課題解決の道

森林管理に課題が多い林業分野に、木質バイオマスエネルギー導入を考えると、持続的かつ発展可能な長期的ビジョンを明確に打ち出し、その上で、更に具体的なアクションプランの構想が必要です。基本的な構想としては、林業の森林管理、木材生産、木材マーケットの一連の流れの上流から下流までを循環するマテリアル・サイクル、エネルギー・サイクル、マネー・サイクルの3点セットを構成する必要があります。木材マーケットを有機的に運営できるシステムを構築しなければなりません。

もう少し具体的にイメージすると、下図に示すように、森林整備には積極的に機械化を導入し、木材コンビナートを構築して製材・乾燥・プレカットした木材製品を木材マーケットへ供給することであり、

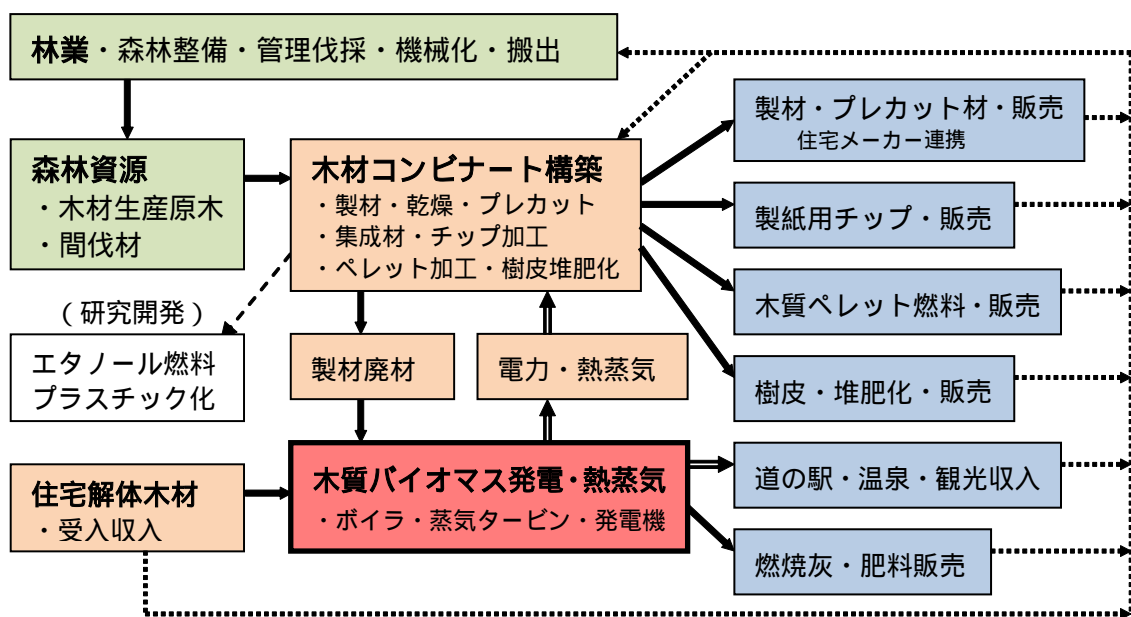
住宅産業との連携が必要不可欠です。本稿の主眼は、この木材コンビナート操業の動力源に、間伐材、製材廃材や住宅解体木材などを燃料としたカーボンニュートラルなバイオマス発電設備を導入して電力と熱蒸気を活用することです。自家発電によりコンビナートの動力費を賄い、住宅解体材を受入れて収益を得ることが運営のポイントです。

木材製品と発電設備をセットに

コンビナートに近接して道の駅や温泉を設営し、発電電力や熱を活用して運営もできるでしょう。これらから得る収益は森林整備へ循環補填できます。コンビナートを森林地域の近傍に建設し、林業再生のための総合的な交流拠点を構築すれば、林業活性化が促進できると思います。モデル事業として国庫補助などを

受けることもできるでしょう。この構想を実現するためには、多くの課題を解決する組織体を創設し、事業収益を具体的に見極めることが事業成功のキープポイントであると考えます。

今後は、当会エネルギー部会の会員として、再生可能エネルギー分野の一つである木質バイオマスエネルギー利活用に関し、県内の比較的小規模なシステム導入の促進に貢献したいと考えております。



➡ マテリアル・サイクル
 ➡ エネルギー・サイクル
 マネー・サイクル

林業分野におけるバイオマス発電システムの概念

部会活動

ケナフ部会 部会長 荒谷 輝正

活動予定(8月~10月)

- ・8月2日 夏休み子ども環境教室開催 「ケナフ知ってる?ハガキを作ろう」
- ・8月18日 泉区親子で楽しむ環境展
- ・8月25日 川崎市地球温暖化防止活動推進センター 紙漉き
- ・10月6日 はま銀こども宇宙科学館 紙漉き

部会開催予定(原則、毎月1回実施予定)

- ・8月実施期日未定

活動報告(4月~7月)

- ・4月21日 ケナフ部会例会 環境科学センター園場でケナフの種まき
- ・5月20日 ケナフ部会例会 ケナフ圃場でケナフの種を芽が出ていないところに蒔く。



6月24日に咲いたケナフの花

- ・6月24日 ケナフ部会例会 圃場の管理ケナフの花が咲いた。例年よりも1ヶ月も早い。8月2日の夏休み子ども環境教室の準備。顕微鏡を使って気孔を見る方法を検討する。
- ・7月13日 ケナフ部会例会 夏休み環境教室の準備

エネルギー部会 部会長 桑原 清

活動予定(7月~10月)

- ・7月28日、29日 南まつり、横浜市南区蒔田公園 人力発電自転車、省エネ実験、パネル展示他
- ・8月1日 夏休み子ども環境体験教室「色々な発電を体験しよう」、環境科学センター
- ・8月18日 親子で楽しむ環境体験教室、泉区役所 人力発電自転車、省エネ実験他
- ・10月27日 はまぎんこども宇宙科学館「ソーラーオルゴールを作ろう」

定例会(県民センター 16時30分~17時30分)

- ・8月8日 R710、9月12日 R709、10月10日 R709

活動報告(5月~7月)

- ・4月26日 環境科学センターで平成24年度新規導入実験設備の見学会

- ・5月9日 定例会・勉強会:ハマウイングと「こども省エネ大作戦」の報告。「太陽の活動と磁場」の報告。NHKで放映された「スターリングエンジン」のビデオ紹介。企業における省エネの取り組みに関する報告。
- ・6月2,3日 アジェンダの日2012、象の鼻パーク
- ・6月13日 定例会・勉強会:「再生可能エネルギー促進と電力自由化の関係」に関する報告。燃料電池の原理と仕組みを示すための子ども向け工作の提案。
- ・6月30日 環境科学センターで「夏休み子ども環境体験教室」の実験内容検討会、事前準備
- ・7月11日 定例会・勉強会:温度差発電に関する報告。

大気環境部会 部会長 猪股 満智子

活動予定

- ・7月18日 13時~16時 KERC 実習室 夏休みこども環境体験教室の準備、試行
- ・7月30日 10時~12時 KERC 実習室 夏休みこども環境体験教室「見えない空気を調べよう」

- ・9月29日 13時30分~16時 定例会 NPOセンター大船 6月度NO₂比較測定結果の検証と12月度測定に向けた検討等

活動報告

- ・5月26日 定例会 NPOセンター大船 6月度NO₂測定ろ紙充填、H24年度活動計画の確認

と具体策の検討。エコアナライザー方式と新測定機器エコチエッカー方式の比較測定第2段として、自動車ガス排気局を重点的に実施し濃度相関等の検証

- ・6月2,3日 アジェンダの日に出席
- ・6月7日夕~8日夕のNO₂濃度24時間測定
- ・6月15,17日 NO₂分析 KEREC 実習室

水環境部会

部会長 古谷 敏夫

活動予定

酒匂川・狩川は、エビ・カニ類が生息し、このうち回遊性の種の上流への遡上が危惧されていることから(川の連続性に関する調査・外来種、甲殻類)の分布調査を実施しております。

- ・7月15日 狩川調査日 JR松田駅 9時集合
- ・8月21日 生き物観察会 対象 小学生20名 開催場所 狩川 中部公民館 付近
- ・8月22日 生き物観察会 対象 小学生20名 開催場所 酒匂川 小田原マリーナ 付近
- ・9月16日 狩川調査日 JR松田駅 9時集合
- ・10月14日 酒匂川調査日 JR松田駅 9時集合

・11月18日 酒匂川調査日 JR松田駅 9時集合
活動報告

- ・4月15日 調査場所 酒匂川・金時橋 下流(左岸) 採集生物15種(カゲロウ目 他)外来種・甲殻類は採集できず
- ・5月20日 調査場所 酒匂川・大井高校 上流(左岸) 採集生物8種(カワゲラ目 他)ハゼ科・シマヨシノボリの繁殖期の雌採集(稚魚は数か月海でくらす) 外来種・甲殻類は採集できず
- ・6月17日 調査場所 狩川 調査実施場所の現地調査(選定ポイント6箇所)

グリーン部会

部会長 柳川 三郎

活動予定

- ・7月21日 ひらつか環境フェア2012へ参加。「参加型紙芝居 買い物から始めるエコ」
- ・8月6日 10時~12時 夏休み子ども環境体験教室「水と楽しく学び実験しよう」県環境科学センターにて実施
- ・8月18日 10時から 横浜和泉区親子で楽しむ環境体験教室「エコカルタの学び、ソーラークーラーの啓発」を実施。和泉区役所

- ・9月29日 洋光台 はまぎん宇宙科学館にて「こども体験教室・大豆モヤシを育てよう」
- ・部会会議 各行事の前に実施

活動報告

- ・5月6日 部会会議 5月17日(市町村環境学習担当者の講習講師の内容について。8月6日開催の教室内容について、さらに事前実習
- ・5月17日 神奈川県市町村の環境学習担当者の研修にて講座の講師を実施。参加者からの声、良好

自然環境部会

部会長 吉田 榮一

活動予定

- ・7月22日 こども植物園(横浜市南区)の自然観察会と部会開催(本会報発行日には実施済みです)
集合:9時 JR保土ヶ谷駅改札出口
- ・12月15日 自然と野鳥観察会(場所:相模原)
自然環境部会員以外の方の参加歓迎です。

活動報告

- ・6月19日開催のかながわコミュニティカレッジ連携講座「環境ボランティア養成講座」で部会員の松原洋一氏が「東日本大震災と私のボランティア体験」について講演した。



事務局だより

事務局 桑原 清

理事会開催予定

かながわ県民センター会議室、14時～16時

8月9日(木)710号室、9月3日(木)709号室、10月11日(木)710号室。

事業実施予定

7月28日(土)、29日(日) 南まつり、蒔田公園

7月30日(月)～8月6日(月) 夏休み子ども環境体験教室、環境科学センター

8月18日(土) 親子で楽しむ環境教室、泉区役所

9月29日(土) 環境に優しい買い物ゲームで楽しもう、はまぎん子ども宇宙科学館

10月6日(土) ケナフの繊維でハガキづくり、はまぎん子ども宇宙科学館

10月27日(土) ソーラーオルゴールを作ろう、はまぎん子ども宇宙科学館

理事会報告

5月10日 かながわ県民センターR710

コミカレ、助成金、総会、等について協議。

6月14日 かながわ県民センターR709

役員の役割分担、規定類の見直し等について協議。

7月12日 かながわ県民センターR709

夏休み子ども環境体験教室、節電チャレンジシート、等について協議。

終了した事業

環境ボランティア養成講座、市町村環境学習担当者研修、平成24年度総会、アジェンダの日2012についてはいずれも2～4面掲載記事をご覧ください。

『夏休み子ども環境体験教室』開催のお知らせ

広報部長 田口繁雄

今回、県環境科学センターでは初めて当会が計画から実施までの全ての責任を持った主催事業として、夏休みに小学生を対象とする「実験や工作を通じて環境や科学に親しんでもらう環境科学体験教室」を実施することになりました。

7月30日(月) 見えない空気を調べよう

8月1日(水) 色々な発電を体験しよう

8月2日(木) ケナフ知ってる？ハガキを作ろう

8月6日(月) 水について楽しく学び実験しよう

いずれも午前10～12時開催

詳細は、当会事務局までご連絡ください。

参加協力をお願いします!

(一部環境省いきものみつけ事業連携)

気候変動を見守ろう

昨年同様、本年当初から、2年以前よりも心持ち寒冷の陽気が続き、いきもの達に変化が如実に現われています。植物にも多少のずれは見られましたが、アカガエル、ツバメ、ホトトギスも遅れ気味でした。昨年心配したセミ類は短期集中型、減少傾向が見られました。今夏10日現在も未だ鳴き声は聞かれませんか!? ハケ岳、道東のエゾハルゼミも同様。身近な生物を指標に初確認日をご報告願います。

キーワードは「いつ、どこで、初見、初聞き」
夏～秋の対象; ハルゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ミヤマクワガタ、アカボシゴマダラ、アサギマダラ、ツマグロヒョウモン、ナガサキアゲハ、ムラサキツバメ、アオダイショウ、ニホンアカガエル、ヤマアカガエル、ニホンカナヘビ、クズ、ヒガンバナ

遠出をする必要はありません。自宅周辺、外出の際などに、ほんのちょっと注意をはらうと、毎年の気候変化が手に取るよう。1種でも結構です。見つけたもの、聴いたものと簡単な地名を報告願います。県版データ化しています。一度確認した場所を毎年追ってみると、変化がわかってよいですね。

送り先: 大気環境部会 猪股 Tel/Fax 0467-32-6858

Eメール: km_inmt@ybb.ne.jp

特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会 会報 第79号

発行日: 2012年7月25日

発行者: 代表理事 柳川三郎

編集人: 田口繁雄 広報部長

〒231-0013 横浜市中区住吉町2-26

洋服会館3階 よこはま市民共同オフィス内

FAX: 050-3488-4943

E-MAIL: npo.k.leader@gmail.com

URL: http://npo-k-leader.net/

寄付、会費等納入口座: ゆうちょ銀行

00230-4-30769 神奈川県環境学習リーダー会

不許複製 © 神奈川県環境学習リーダー会

2012 Printed in Japan